

お申し込み
お問い合わせはWEBで
<http://jagss.jp>

mail: info@jagss.jp

〒606-0803

京都府京都市左京区下鴨下川原町 62-4

リバーコート下鴨 1F

phone 075-744-1988

日独小児靴学研究会

Japan German Kids & Children Shoes Science Study Group

JAGSS

日独小児靴学研究会

・共同代表より

日本での靴の歴史はたった70年ほどです。その本質を商業主義に委ねてきたことで、——子どもの足は大切で、靴は重要である——ということなど考慮されずにきました。

ドイツ靴をはじめとする健康靴が入ってきて約30年、子ども靴は約25年。子どもの足と靴の重要性は徐々に知られつつありますが、保護者様たちがさまざまな知識を得ても必要な時に相談できる専門家やネットワークがなく、靴をきちんと見立ててくれる販売店も少なく、“靴文化”は育てられてこなかったのです。

近年、高まってきた“歩育・足育”という啓発活動によって少しずつ足と靴の重要性が浸透しはじめてきたように感じますが、これからは業界が一丸となって対策していく必要があるのではないかと痛感しています。

そこで、2016年1月、子どもの足と靴の正しい見地を“小児靴学”と位置づけ、スタンダードを構築し、横断的な連携ができる人材を育成することを目的に日独小児靴学研究会を設立し、第一期生を募りました。受講者には靴のメーカーや販売職に属さない人々も多くいます。

医療分野のみならず、全く別分野の国家資格を持つ方も、

「自分の子どもの健康な発達を考えた時に靴は大事だと知り、都内の有名靴店を多く訪ねたが、行く先々で異なるアドバイスをされることに納得できなかった。正しい知識を学ぶ場所はどこしかなかった」と研修を受けています。

今年2月には三期生が修了、去年の夏には小児靴カウンセラーが3名誕生しました。

日本における“靴文化”のゴールは、ご家庭での意識づけを軸に、保育・教育・医療現場等との横断的な他職種連携ができること、販売現場も、正しい知識を持ち、消費者にきちんと応えられる技能を習得することで結実するのだと考えます。

日独小児靴学研究会は、正しい知識の普及と各職域で役立つ連携ができるよう尽力していきます。皆さまのご賛同、ご支援とご参加を心よりお待ちしております。

日独小児靴学研究会 共同代表 塩之谷 香

伊藤 笑子



プライマリーコースで講義をする塩之谷共同代表



伊藤の実技を真剣に見つめる参加者



プライマリーコースで講義中の伊藤共同代表

